

# 平成24年度各会計予算案の大綱 .....

次に、平成24年度各会計予算案の大綱についてご説明申し上げます。

平成24年度予算は、総合計画スタートの年として政策提言を踏まえつつ、更なる発展のため、緊急度・重要度からの取捨選択を行い、乳幼児等医療など就学前受給者の医療費無料化や保育サービスの拡充など子育て支援の強化などについても最大限盛り込みました。

現年収納率97.9%を目指した市税の確保、計画的な公債費の縮減などにより、引き続き、市全体の財政の健全性を維持しつつ、今後とも将来世代に負担を極力先送りしないよう努めるとともに、市政執行方針で申し上げました7つの柱に基づき、予算を計上しました。

この結果、

一般会計	203億	9,500万円
特別会計	116億	5,818万円
下水道事業会計支出	25億	3,665万円
病院事業会計支出	76億	2,779万円

となり、各会計の歳出総額は422億1,762万円で、平成23年度6月補正後予算と比較して、3.0%の減、金額では13億843万円の減となりました。

次に、会計別の概要を申し上げます。なお、前年度比は平成23年度6月補正後予算との比較です。

一般会計におきましては、子どものための手当の支給額の改正による影響のほか、公債費の減少や第三セクターの経営改善に伴い貸付金を減少させたことにより、

予算額 203億9,500万円で、前年度比2.7%減となっています。

性質別にみますと、

人件費については

予算額 37億7,991万円で、前年度比4.2%増

扶助費は、子どものための手当の支給額の改正による影響などにより、

予算額 34億3,956万円で、前年度比1.9%減

建設事業費は、開西中学校改築工事を国の第3次補正で示された有利な財源措置を活用するため、平成23年度で予算措置を行い、繰越事業とすることなどにより、

予算額 7億9,511万円で、前年度比40.4%の減

公債費は、地方債償還金と利子の減などにより、

予算額 21億9,179万円で、前年度比5.5%の減となっています。

次に、国民健康保険特別会計におきましては、保険給付費の増などにより、

予算額 55億4,890万円で、前年度比3.0%増

公営住宅事業特別会計におきましては、建替事業費の増などにより、

予算額 7億6,528万円で、前年度比14.8%増

介護保険特別会計におきましては、

保険事業勘定が、介護保険サービス費の増などにより、

予算額 33億9,665万円で、前年度比4.3%増

介護サービス事業勘定が、介護報酬改定の影響などにより、

予算額 14億1,526万円で、前年度比1.8%減

介護保険特別会計総体で、

予算額 48億1,191万円で、前年度比2.4%増

後期高齢者医療特別会計におきましては、広域連合納付金の増などにより、

予算額 5億3,209万円で、前年度比10.6%増

下水道事業会計におきましては、企業債償還の減などにより、

支出額 25億3,665万円で、前年度比2.1%減

病院事業会計におきましては、改築工事終了による改築事業費の減などにより、

支出額 76億2,779万円で、前年度比12.7%減となりました。

次に、普通建設事業費の全体予算について各会計毎にご説明申し上げます。

一般会計では、

道路新設改良事業費 2億4,057万円

教育支援センター整備事業費 1億2,500万円

等を含め、総額で 7億9,511万円

公営住宅事業特別会計では、 4億 885万円

下水道事業会計では、 2億3,115万円

病院事業会計では、 5,598万円

全体で前年度比40.8%減の 14億9,109万円 を計上しました。

引き続き、施策の主なものについて、ご説明申し上げます。

はじめに、「市民との対話によるまちづくり」についてです。

地域振興に自ら取り組む地域づくりについては、

「東滝川地域の振興を考える懇談会」での協議経過を踏まえ、

東栄小学校体育館を地区福祉会館として活用するための維持管理費 206万円

東滝川地区転作研修センターに増設する体育館の調査設計委託料 414万円

東滝川公園実施設計委託料 286万円 を計上しました。

まちづくりセンター事業については、

活発な市民活動を推進するために、

まちづくりセンター事業費 1,382万円

未来へつなぐ市民税1%事業補助金 500万円 を計上しました。

次に、「機能的な生活基盤の充実したまちづくり」についてです。

市民が創る「北のエコ・コンパクトシティ たきかわ」の推進については、「滝川市都市計画マスタープラン」、「滝川市都市交通マスタープラン」に基づく都市づくりを目指すため、

都市計画変更法定図書作成業務委託料 845万円  
都市計画変更データ更新等委託料 159万円  
都市計画道路変更資料作成業務委託料 644万円  
都市計画公園変更図書作成業務委託料 276万円 を計上しました。

交通環境の整備については、

交通体系を踏まえた道路網の整備として、朝日町東574号線道路改良舗装工事など、  
道路新設改良事業費 2億4,057万円  
街路事業費 1,500万円

冬期間における交通網を確保するため、

除排雪対策費 4億2,754万円  
流雪溝管理費 2,972万円

交通安全対策を充実するため、

交通安全対策事業費 312万円

都市環状軸の形成に向けた都市計画街路西2号通りの整備を実施するため、

泉町地区土地区画整理事業調査業務委託料 1,050万円 を計上しました。

豊かな住まい、環境づくりの推進については、

安心して暮らしやすい住環境づくりを目指すため、泉町団地3棟目建設工事・東町団地1棟目建設工事など、

公営住宅建替・改善事業費 3億7,751万円

一般住宅の耐久性及び耐震性につながる改築等を支援するため、

住宅施策推進事業費 2,893万円

子供からお年寄りまで利用できる地域の公園を整備するため、さくら公園造成工事など、

公園緑地造成事業費 7,536万円

旧合流式下水道区域の分流化工事として、

下水道合流改善事業費 6,000万円

中継ポンプ場更新のため、

中継ポンプ場更新工事費 4,500万円

下水道整備のため、

下水道整備事業費 1,620万円

農村地域における生活環境を改善するため、

個別排水処理事業費 880万円

水道水を安全に供給するため、

中空知広域水道企業団負担金及び出資金 1億2,623万円 を計上しました。

中心市街地活性化については、

賑わいと元気あふれる商店街を形成するため、

空き店舗対策拠点事業補助金 200万円

街なか地域文化交流広場事業補助金 885万円

街なか共同住宅建設事業補助金 840万円 を計上しました。

公共施設の計画的な維持管理については、

公共施設の効率的な維持と適正配置を目指すため、

公共施設維持管理計画作成事業費 416万円 を計上しました。

次に、「誰もが住みよい安心安全なまちづくり」についてです。

災害に強いまちづくり事業については、

非常時に備えるため、

災害用物資備蓄経費 55万円

地域防災訓練実施経費 25万円

防災倉庫整備費 1,765万円

水害対策として、

銀川護岸改修工事費 2,500万円

石狩川丘陵堤整備の促進に寄与するため、

有明町地区地籍整備推進調査事業費 946万円 を計上しました。

公共施設の耐震化・バリアフリー化事業については、

平成23年度に実施した基本設計に基づき、

滝川第三小学校改築実施設計委託料 3,429万円

滝川スポーツセンターの耐震診断の実施のため、

スポーツセンター耐震診断調査補助金 350万円

バリアフリー基本構想に基づき、

鈴蘭通り線バリアフリー化事業費 1,500万円 を計上しました。

介護保険事業の推進については、

認知症を予防するため、

すっきりいきいき頭の健康教室事業費 68万円

在宅介護の経済的負担を軽減するため、

家族介護用品支給事業費 150万円

高齢者の安否確認を行うため、

高齢者見守り支援センター事業費 380万円

歩行に支障のある重度の要介護認定者の経済的負担を軽減するため、

リフト付きタクシー等助成事業費 60万円 を計上しました。

健康づくりの推進については、

市民の健康づくりと健康管理を推進するため、

保健事業費 2,222万円

母子保健事業費 2,994万円

歯科保健事業費 237万円

栄養改善事業費 170万円

子宮頸がん等ワクチン接種事業費 3,112万円

特定がん検診推進事業費 918万円

感染症等対策事業費 3,678万円

休日夜間の医療体制の確保のため、

休日夜間急病センター運営費 3,596万円 を計上しました。

高齢者の支援については、

介護保険を円滑に推進するため、

介護保険給付費 31億2,831万円

介護サービス事業として、

デイサービスセンター運営費 1億8,665万円

老人保健施設運営費 4億1,050万円

特別養護老人ホーム運営費 6億9,660万円

介護予防支援事業所運営費 1,858万円

後期高齢者医療制度を円滑に推進するため、

北海道後期高齢者医療広域連合負担金 5億3,329万円 を計上しました。

障がい者福祉の充実については、

障害者自立支援給付事業費 7億3,148万円

障害者自立支援医療事業費 8,613万円

障害者地域生活支援事業費 2,289万円

特別障害者手当等事業費 2,384万円 を計上しました。

消防体制の充実については、

消防・救急救助体制を整備し、充実するため、

滝川地区広域消防事務組合負担金 6億4,428万円

消防活動支援等事業交付金 30万円 を計上しました。

公害防止対策については、

住民の生活環境を保全するため、

自動車騒音測定評価業務委託料 257万円 を計上しました。

ごみの減量化とリサイクルの推進については、

適切に廃棄物を処理するため、

じん芥収集経費 2億2,711万円

分別収集経費 3,483万円

ごみ減量化推進事業費 880万円

最終処分場運営管理費 2,700万円

廃棄物の安定処理のための可燃ごみ焼却施設の建設に向けて、

中・北空知廃棄物処理広域連合負担金 1億6,647万円

中空知衛生施設組合リサイクル等運営管理費として、

中空知衛生施設組合負担金 5億5,888万円 を計上しました。

次に、「元気な産業と活力あるまちづくり」についてです。

企業誘致については、

積極的な情報収集や企業訪問活動を行うため、

企業誘致推進等事業費 335万円  
産業活性化協議会負担金 190万円  
工場立地等助成金 351万円 を計上しました。

農業の振興については、

様々な農業課題に対応するため、

元気な農業づくり補助金 240万円  
鳥獣被害防止対策協議会補助金 42万円  
滝川農業塾補助金 100万円

なたねの輪作体系を維持するため、

なたね生産振興事業費 145万円

北海道立畜産試験場滝川試験地跡地利用を推進するため、

畜産試験場跡地利用対策費 30万円

農業生産基盤や基幹農業水利施設の整備を進めるため、

道営土地改良事業負担金 7,069万円  
道営土地改良事業計画樹立事業負担金 200万円

地域共同による農村景観や環境保全に取り組む活動を支援するため、

農地・水保全管理支払交付金事業費 2,493万円  
環境保全型農業直接支援事業費 261万円

農家の経営安定化を支援するため、

農業振興補償融資原資貸付金 4,500万円 を計上しました。

商業の振興については、

商店街等の活性化を図るため、

商店街アーケード照明維持費補助金 108万円  
街なか賑わいづくり事業補助金 100万円  
商店街振興対策事業補助金 50万円 を計上しました。

新しい産業の創出については、

産業創造パワーアップ資金融資原資貸付金 2,829万円  
産業立地資金融資原資貸付金 3,199万円 を計上しました。

中小企業の支援については、

中小企業等の経営基盤を強化するため、

店舗リフレッシュ資金融資原資貸付金 1,652万円  
特別融資原資貸付金 2億円 を計上しました。

地域に根差したエネルギー対策については、

新たに自然エネルギーの活用を促進するため、

太陽光発電導入支援補助金 200万円

循環型社会の形成に向けた取組みを進めるため、

使用済食用油燃料化推進事業費 254万円 を計上しました。

雇用確保体制の充実については、

国の「震災等緊急雇用対応事業」を活用し、

緊急雇用創出推進事業費 2,267万円

季節労働者や季節移動労働者を支援するため、

通年雇用促進支援事業費 20万円

季節移動労働者援護事業費 9万円

高齢者が生きがいを持てるような就労機会を確保するため、

シルバー人材センター運営費補助金 795万円

技能労働者の人材を育成するため、

中空知地域職業訓練センター協会負担金 1,675万円 を計上しました。

次に、「豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり」についてです。

観光の振興については、

丸加高原健康の郷の魅力づくりに資するため、

丸加高原伝習館等運営管理費 3,360万円

丸加高原花畑造成等委託料 153万円

丸加高原応援団補助金 55万円

観光客の誘致により地域経済の活性化を図るため、

たきかわ観光協会補助金 870万円

たきかわ菜の花まつり実行委員会補助金 100万円

滝川ふれ愛の里を改修し利用者数を増やすため、

滝川ふれ愛の里施設等修繕料 615万円

滝川市観光大使・横綱白鵬関の任期最終年として観光・物産の全国展開を目指すため、

横綱白鵬関プロジェクト事業補助金 580万円 を計上しました。

国際施策の推進については、

中華圏を視野に入れた事業等を推進していくため、

JETプログラムによる国際交流員配置事業費 1,771万円

滝川市観光大使・横綱白鵬関の故郷モンゴル国の農業支援のため、

自治体職員協力交流事業費 463万円

自治体国際協力促進事業補助金 300万円

国際観光施策を推進するため、

国際観光モデルツアー事業負担金 5万円 を計上しました。

まち自慢のパークゴルフ場の実現については、

全道規模の大会が誘致できるようなパークゴルフ場の整備を検討するため、

パークゴルフ場建設調査費 10万円 を計上しました。

そらぶちキッズキャンプの応援については、

平成24年度夏に本格開園を予定するそらぶちキッズキャンプを支援するために、

そらぶちキッズキャンプ支援事業費 575万円 を計上しました。

次に、「未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり」についてです。

子育て支援の強化については、

子育て世代の医療費負担の軽減を図るため、

乳幼児等医療、ひとり親家庭等医療、重度心身障害者医療扶助費 1億9,594万円

新たに延長保育の実施保育所を拡大して、親が安心して働くことのできる環境づくりを進めるため、

保育所運営管理費 2億7,785万円

病後児保育の開設時間を延長して実施する経費を含め、

病後児保育運営費 369万円

開放時間を延長し、子どもの居場所づくりなどの放課後児童対策を進めるため、

放課後児童クラブ運営費 1,116万円

地域の中で子育てを支援するため、

地域子育て力強化事業費 106万円 を計上しました。

学校教育の充実については、

小中学校の外国語指導の充実を図るため、

語学指導等を行う外国青年招致事業費 2,174万円

文化・スポーツ分野で活躍する子どもたちを応援するため、

文化体育大会派遣奨励費 351万円

きめ細かな指導や支援の充実を図るため、

学校サポート事業費 1,003万円

児童の虫歯予防のため、

小学校フッ化物洗口事業費 59万円

学校の伝統を活かした特色や魅力をつくるため、

学校の魅力づくり事業補助金 100万円

安心安全な学校施設環境を計画的に整備するため、

滝川第三小学校改築実施設計委託料 3,429万円

滝川第一小学校体育館ボイラー取替等工事費 882万円

東小学校体育館屋根葺替工事費 1,441万円 を計上しました。

社会教育については、

旧北海道立滝川高等技術専門学院の施設を活用し、新たに複合的な教育施設として整備するため、

教育支援センター運営管理費 1,115万円

教育支援センター改修工事費 1億2,500万円

ソフトボール場新設工事設計委託料 207万円

利用者のサービス向上と読書普及に努めるため、

新図書館図書購入費 1,000万円

滝川の文化芸術と触れ合う機会を設けるため、

美術自然史館企画展事業費 140万円

文化センター舞台照明設備機器更新工事費 2,019万円 を計上しました。

地域と大学による連携事業の支援については、

國學院大學北海道短期大学部協力会交付金 15万円

國學院大學北海道短期大学部コミュニティカレッジ支援事業費 100万円

國學院大學北海道短期大学部開学30周年記念事業補助金 100万円 を計上しました。

次に、「効率的な行政運営によるまちづくり」についてです。



ふるさと納税の推進については、

滝川市への支援を拡大し、魅力的な事業を実施するため、

ふるさと納税推進事業費 36万円 を計上しました。

第三セクター等の経営健全化については、

土地開発公社が先行取得した公有地を取得し、将来負担を軽減するため、

公有財産購入費 3,000万円

個別事業の見直し、経費節減などによる経営改善を促進し第三セクター等の経営を支援するため、

土地開発公社貸付金 10億4,300万円

滝川振興公社貸付金 6億6,350万円

滝川グリーンズ貸付金 3,580万円 を計上しました。

次に、これらに見合う平成24年度一般会計歳入の主なものについてです。

市税については、年少扶養控除廃止などの税制改正により個人市民税が増額する見込みであるものの、法人市民税は東日本大震災や円高の影響により増が期待できないこと、固定資産税・都市計画税は平成24年度が評価替えの年度であり大きく減額する見込みであることなどから、依然として厳しい状況にあり、総額としては減額を見込んでおりますが、現年収納率97.9%、滞納繰越分11.7%、合わせて87.8%の収納率を確保する予算となっております、

対前年4,658万円減の 42億1,980万円

地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせて、

対前年5,777万円増の 73億1,060万円

その他の歳入といたしまして、

国庫支出金 25億1,477万円

道支出金 8億8,577万円

市債 11億6,730万円 を計上しました。

基金繰入金については、増え続ける社会保障費の負担増などから、対前年4億108万円増の5億2,450万円を計上しておりますが、平成23年度に行う基金積み立てなどを考慮すると、実質的な基金残高の減とはならない見込みです。

以上、平成24年度の各会計予算案の大綱について申し上げます。

厳しい財政状況の中ではありますが、子育て支援の強化、公共施設の耐震化を含めた災害対策の充実、建設事業費も一定額を確保するなど十分配慮して予算計上いたしました。市民の皆様、市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、慎重なるご審議と適切なるご決定をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。